

# 宮川の風 第75号

平成31年2月8日（金）発行  
宮川小学校校長室からのたより

学べる環境を整えば人は学びから離れていき、学びの環境に恵まれていなかったら人は学びを求めていくのかもしれませんが。家が貧しくて学校に通えない子どもたち。勉強道具も靴もない中で、学校までの長い道のりを歩いて通学する子どもたち。そんな子どもたちは、学ぶことの喜びを感じ、学べることに感謝し、学ぶ目標をはっきりと定めているように感じます。

裏面の記事をお読みください。

以前、鹿児島でも上映された映画「世界の果ての通学路」。ドキュメンタリー映画なので、日常のありのままの生活の中で、子どもたちが、非常に過酷で危険な「通学路」を通過して学校に向かうという話なのですが、主人公となる4人の子どもたちが光り輝いています。子どもたちが将来を語る姿に感動し、胸がいっぱいになりました。この映画を観て、「夢」と「希望」こそがこの過酷な環境に生まれ育った子どもたちの人生を支え、道を切り拓いていく力になるのだと感じました。

過酷な「通学路」に子どもたちを送り出す親の心境も痛いほどよく分かりました。子どもの無事を祈るそこには「神」の存在があり、その「神」の存在は子どもたちにも伝わっています。

片道22キロを歩いて通うザヒラ（12歳・モロッコ）とその友人たちは、友人の一人が途中で足を痛めて休んでいると、「勉強したいんだったら、頑張らないといけない」と言います。私たちは「勉強を頑張ろう」とは言いますが、「勉強をするために何かを頑張る」ということはありません。学びの条件が整っていない地域では、学ぶために頑張らないといけないことがたくさんあるのです。だから、学びに真剣になり、自分の夢や目標を明確に持てるのではないかと思います。厳しい現実にも負けない子どもたちの屈託のない笑顔に心を打たれました。

## 第30回 宮川小吹奏楽部 定期演奏会

期日：3月3日（日）

時間：午前 9：30 開場

10：00 開演

12：00 終了

場所：宮川小学校体育館

一年間の練習の成果を発表してくれます。子どもたちの演奏を多くの方々にお届けしたいと思います。ご家族、ご近所、お友だちなどお誘い合わせてご来場ください。



## ある日のできごとから



今週の水曜日には、4年生の学習の一環として「大島紬体験教室」がありました。紬の里から9名の方々がおいでくださり、機織りや染め、大島紬の試着などを体験させていただきました。初めての体験に子どもたちも楽しそうな表情でした。

学習が終わって、9名の方々と校長室でお話しする中で、こんなことをおっしゃっていました。「宮川小の子どもたちは礼儀正しく、熱心に学習してくれました。（染めの材料が床につくのを防ぐために敷いた）新聞紙が、破れずにきれいなままだったのは初めてで感動しました」。それを聞いて、私も嬉しくなりました。

毎朝、なわとび運動に励んでいる子どもたちがいます。個人技への挑戦もさることながら、「長縄エイトマン（8の字跳び）」の記録を伸ばそうと頑張っているクラスもあります。今週、嬉しい知らせがありました。宮川小学校から県のベスト3に入った学級があったのです。よく頑張ったと思います。宮川小の一校一運動は「なわとび運動」です。まだまだ練習を重ねていきますので、記録も伸びていくことでしょう。

これからも宮川っ子は、いろんな場面で活躍してくれることでしょう。

（文責：鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）